

2026 年度 西南学院大学教育に関する懇談会報告書

【はじめに】

2026 年 9 月 8 日（火）に「2026 年度西南学院大学教育に関する懇談会」を開催したため、以下のとおり報告する。

西南学院大学教育に関する懇談会は、本学の教育活動等の取組に関して、地域社会及び産業界等の学外参画者との懇談及び意見聴取を通じ、本学の教育活動等の客観的な検証及び改善並びに適切性の確保に資することを目的として、2023 年度から毎年度開催している。

今年度は、「留学生との共修による国際教育の推進について」をテーマとして、学内構成員及び学外参画者において意見交換を行った。

【教育に関する懇談会 懇談要旨】

テーマ：留学生との共修による国際教育の推進について

○トピックⅠ 国際教育と入学者選抜の取組について

（主な内容）

- ・西南学院大学では、国際教育の推進に向けて、英語 4 技能利用型一般入試における基準スコアや一般入試における「英語」の配点を見直すとともに、外国人入学試験による留学生の受入れにも取り組んでいる。
- ・高校生にとって入試は強いインセンティブとなることから、高校における英語教育やグローバル教育の推進において、大学の入試制度が果たす役割は大きい。英語 4 技能利用型一般入試は、高校において 4 技能 5 領域を統合した英語教育を推進する上で大きな意義がある。
- ・近年は英検等の資格試験の受験料が増額しており、家庭の経済状況によって受験機会の違いによる格差が生じている。
- ・早い段階から留学に目を向けることのできる生徒ばかりではなく、家庭環境等によって海外や語学教育に対する意識や経験に差が生じている。福岡県では、家庭環境等にかかわらず留学できる機会を確保するため、渡航に必要な費用を補助する事業を実施している。このような事業について、実績が少ない高校に対しても積極的に呼びかけ、その経験を次の世代につなげていくことで、留学に対する意識や経験の格差を縮小することを目指している。
- ・文部科学省「N-E.X.T. ハイスクール」構想においては、理系人材の育成が重要な課題の一つとなっている。福岡県においても、理系人材の育成を推進し、文系の生徒についても理系の素養を育成する方向を目指している。こうした高校での学びを大学においても継続・発展させる機会を設けることが期待される。
- ・福岡県では、グローバル教育にも力を入れており、言語力やコミュニケーション能力の育成に加え、越境体験を通じて、異なる文化や多様な背景を持つ他者と関わりながら、自らの考えを見つめ、主体的に発信する力を育成する取組を進めている。こうした高校での経験が大学進学後の長期留学への挑戦につながることを期待される。

○トピックⅡ GLA 科目を中心とした留学生との共修による教育の取組について

（主な内容）

- ・2025 年度に GLA 科目を導入し、アンケート結果から、履修者数や授業の到達目標の達成状況等、目標はおおむね達成され、初年度の取組として一定の成果が確認できた。一方、課題も確認されたため、改善を図りながら取組を進めている。
- ・大学院においては、留学生の入学者数が限られており、一部の研究科に偏っていることから、留学生と日本人学生が共に学ぶ機会は限られている。留学生に対しては、「応用日本語研究」科目や大学院チューター制度等を通じて、組織的な支援を進めている。
- ・グローバルに活躍するには、海外の市場や生活、文化等をよく観察し、「誰に、何を、どのよう

に売るのか」、「どのように運ぶのか」等を、調べて、考え抜く力が必要である。留学生との共修を通じて、洞察力、観察力、未来予測力、相手の立場に思いをはせる力等を育成することが期待される。

- ・ こうした力は、授業だけではなく、ボランティア活動や課外活動等、他者との関わりを通じて育成される。また、大学在学中に海外に行き、海外経験を通じて学生が視野を広げる機会を得ることも期待される。

【まとめ】

懇談会は、学内構成員の他、学外参画者として2名に参加いただき、「留学生との共修による国際教育の推進について」をテーマとし、2つのトピックについて懇談を行った。

トピックⅠでは、入学者選抜に関して、英語4技能利用型一般入試を中心に、高校生にとっての意義や課題について懇談した。また、高校における英語教育やグローバル教育の動向について確認するとともに、家庭環境等の影響による資格試験の受験機会の格差や、理系人材の育成の動向等について意見交換を行い、今後の大学での取組を考える上で示唆に富むご意見をいただいた。

トピックⅡでは、海外ビジネスのコンサルティング経験に基づき、グローバルに活躍する上で求められる資質・能力について具体的な事例を交えながらご説明いただいた。大学においては、語学力だけではなく、洞察力、観察力、未来を予測する力、相手の立場に思いをはせる力等の素養を育む機会を提供することの重要性について意見交換を行った。その中で、本学が、留学生との共修のほか、海外ボランティアや課外活動等、多様な経験を積む機会を学生に提供していることを改めて認識した。

いずれのトピックについても、学外の視点から本学の教育に関する客観的な意見、助言等をいただくことができた。

【西南学院大学教育に関する懇談会 実施概要】

会議等の名称	西南学院大学教育に関する懇談会
開催日時	2026 年 9 月 8 日（火）14：25～16：40
会場	西南学院 本館 3 階 大会議室
テーマ	留学生との共修による国際教育の推進について トピックⅠ.国際教育と入学者選抜の取組について トピックⅡ.GLA 科目を中心とした留学生との共修による教育の取組について
出席者	[大学関係者] 座長 今井 尚生 学長 石森 久広 副学長(総務担当) 進行 北垣 徹 副学長(教育・研究担当) 渡邊 均 教務部長 平井 佐和子 入試センター長 西田 顕生 大学院学務部長 横溝 紳一郎 国際センター主任 三苫 正淳 大学事務長 松崎 尚志 教育支援部事務部長 浅田 昌吾 入試・国際・教育推進部事務部長 [学外参画者] 権藤 享子 福岡県教育庁 教育振興部高校教育課 主任指導主事 田中 大輔 福岡商工会議所 産業・貿易振興部長 (陪席者) 藤本 光輝 総合企画部長 井上 万里子 入試・国際・教育推進部 国際センター事務室 課長 前田 誠史 入試・国際・教育推進部 教育推進課長 中山 英人 総合企画部 企画課課長 根岸 恵 総合企画部 企画課副課長 書記 佐藤 萌 総合企画部 企画課 大塚 実穂 総合企画部 企画課
配付資料	・ 式次第 ・ トピックⅠ及びⅡ 当日配布資料（1～5）